

第5 地域保健福祉の推進〔総務企画課〕

1 各種保健・医療・福祉計画の概要

県では、平成22年度を初年度とする福島県総合計画『いきいき ふくしま創造プラン』を策定するとともに、保健・医療・福祉分野においても、県民の「安心」の実現を図り、次代にわたって信頼できる施策を展開するための新たな基本理念及び基本目標を定めた「福島県保健医療福祉ビジョン」を策定し、基本理念及び基本目標に基づいて各種施策を推進してきた。

しかし、東日本大震災及び原子力災害の発生により、甚大な被害を被るとともに、いまだ多くの県民が県内外への避難を余儀なくされている。

原子力災害が収束していない中で、本県の復旧・復興の取組は喫緊の課題であることから、県は、県政全体の基本方針を示す「総合計画」を平成24年12月に策定し、「福島県保健医療福祉ビジョン」についても、子ども達が親の世代となる30年ほど先を視野に入れ、今後8年間をめどに本県が東日本大震災や原子力災害を克服し、全国に誇れる水準の保健・医療・福祉により、将来の本県社会が支えられていることを目指して、「福島県保健医療福祉復興ビジョン」として改定した。

ビジョンは、各個別計画で定める個別具体的な施策を、保健医療福祉の連携のもと、一体的に推進することにより実効性の確保を図るとともに、ライフステージ全般にわたり、サービスが提供できるよう保健医療福祉の連携のもと、総合的・一体的な施策の推進を図るものである。

◎保健福祉部の主な中長期計画一覧

	計画の名称	計画期間	策定年月	策定根拠
健康づくり	第二次健康ふくしま21計画	H25～H34	H25.3	健康増進法
	福島県自殺対策推進行動計画	H25～H28	H25.3	自殺対策基本法
	福島県がん対策推進計画	H25～H29	H25.3	がん対策基本法
	第二次福島県食育推進計画 (おいしくイキイキ食育プラン)	H22～H26	H22.3	食育基本法
	福島県感染症予防計画	H12～	H25.3改定	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律
	第三次福島県歯っぴいライフ8020運動推進計画	H25～H34	H25.3	歯科口腔保健の推進に関する法律、福島県歯科口腔の推進に関する条例
地域医療	第六次福島県医療計画	H25～H29	H25.3	医療法
	福島県看護職員需給計画	H25～H29	H25.3	県独自
	福島県医薬分業推進指針	H10～	H10.3	県独自
	第二期福島県医療費適正化計画	H25～H29	H25.3	高齢者の医療の確保に関する法律
出産・子育て	うつくしま子ども夢プラン(後期行動計画)	H22～H26	H25.3改定	次世代育成支援対策推進法 児童福祉法
	福島県母子家庭等自立支援計画	H22～H26	H22.3	母子及び寡婦福祉法
福祉社会	福島県地域福祉支援計画	H22～H32	H25.3改定	社会福祉法
	第六次福島県高齢者福祉計画・第五次福島県介護保険事業支援計画	H24～H26	H24.3	老人福祉法 介護保険法

	計画の名称	計画期間	策定年月	策定根拠
福祉社会	第3次福島県障がい者計画	H22～H26	H22.3	障害者基本法
	福島県DVの防止及び被害者の保護・支援のための基本計画	H24～H26	H24.3	配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律
安全安心	福島県水道整備基本構想2005「福島県くらしの水ビジョン」	H17～H31	H18.3 (H25年度改定予定)	厚労省通知
	福島県安全・安心に関する基本方針	H24～	H24.11	県独自
	福島県動物愛護管理推進計画	H20～H29	H20.3 (H25年度改定予定)	動物の愛護及び管理に関する法律（国の基本方針の見直しに伴う改定）

2 地域保健福祉の推進

(1) 相双地域保健医療福祉協議会の開催

相双地域における保健・医療・福祉の施策を展開していくための基本的な計画として策定した「相双地域保健医療福祉推進計画」の推進、進行管理、見直し等を行うため、各分野の関係機関が連携し協議等を行う場として「相双地域保健医療福祉協議会」を設置している。

平成24年度は、「福島県保健医療福祉復興ビジョン」、新たな「相双地域保健医療福祉推進計画」の策定に向けた骨子及び成25年度事務所基本方針・重点施策等についての協議を行った。

○開催月日 第1回 平成24年9月27日（木）

第2回 平成25年3月12日（火）

○委員名簿（平成24年度相双地域保健医療福祉協議会）

No	区分	委嘱機関（役職名等）	氏名	備考
1	医療①	相馬郡医師会長	樋口 利行	副会長
2	②	双葉郡医師会長	井坂 晶	
3	③	双葉郡歯科医師会長	宮嶋 清憲	副会長
4	④	相馬薬剤師会長	佐藤 悟	
5	⑤	福島県看護協会相双支部長	堀内 由美	
6	保健①	相双地区食生活改善推進協議会長	渡辺 純子	
7	②	南相馬市保健センター所長	岡和田 忠一	
8	③	南相馬市健康づくり課長	中里 祐一	
9	④	広野町保健センター所長	根本 茂	
10	福祉①	相双地区特別養護老人ホーム連絡協議会長	三瓶 政美	
11	②	みなと保育園園長	和田 信寿	
12	③	福島県精神保健福祉協会相双支部長	金森 良	
13	④	南相馬市社会福祉協議会長	門馬 秀夫	会長
14	一般①	NPO法人あさがお理事長	西 みよ子	
15	②	NPO法人はらまちクラブ理事長	江本 節子	
16	行政①	相馬地方広域市町村圏組合事務局長	菊池 邦啓	
17	②	双葉地方広域市町村圏組合事務局長	吉田 裕彦	
18	③	福島県相双地方振興局長	武 義弘	
19	④	福島県相双教育事務所長	笠井 淳一	
20	⑤	福島県浜児童相談所長	安部 智彦	

(2) 地域保健福祉活動推進研修

ア 相双地域の精神保健医療福祉連携強化研修会

東日本大震災により失われた精神保健医療福祉の機能回復を目指し、効果的できめ細かな支援を行うため、関係機関の連携強化を図る目的で開催した。

○日 時：平成24年10月29日（月）13：15～16：00

○場 所：福島県テクノアカデミー浜 101教室

○参加者：42名（市町村、医療機関、障害者福祉サービス事業所等職員）

○内 容：（1）講演「相双地域における精神保健医療福祉の連携の必要性について」
講師 公立大学法人福島県立医科大学 看護学部 大川 貴子准教授

（2）意見交換

イ 福島県地域保健福祉職員新任研修のフォローアップ研修

福島県地域保健福祉職員新任研修を受講した相双管内の県職員及び市町村職員（いわき市含む）に対し、研修成果を再確認し保健福祉行政職員として期待される役割を果たすことを目的に開催した。

<いわき方部>

○日 時：平成24年11月7日（水）13：00～16：00

○場 所：いわき合同庁舎南分庁舎 3階 中会議室

○参加者：13名（いわき市、楡葉町職員）

○内 容：（1）講演並びに演習「面接技術の実践～円滑なコミュニケーションを目指して～」
講師 ふくしま心のケアセンター いわき方部センター職員

（2）グループワーク「住民対応等で困ったこと・困っていること・不安なこと」

<相双管内>

○日 時：平成24年11月21日（水）13：00～16：00

○場 所：相双保健福祉事務所 大会議室

○参加者：9名（相双保健福祉事務所、南相馬市職員）

○内 容：（1）講演並びに演習「円滑なコミュニケーションを目指して
～「やりとり」と「アサーション」～」

講師 メンタルクリニックなごみ 副院長

（2）グループワーク「住民対応等で困ったこと・困っていること・不安なこと」

(3) 保健医療福祉関係実習生等の受入れ状況

ア 実習生等の教育指導

保健・医療・福祉従事者養成機関の学生等に対して、下記のとおり地域保健福祉活動の実際について実習の場を提供し教育指導を行った。

養成施設名	実習人員 (人)	実習延日数 (日)	実習期間
県立医科大学看護学部	3	1	5月14日
郡山女子大学	3	5	9月3日～9月7日
相馬看護専門学校	40	1	11月6日
計	46	7	

イ 医師臨床研修「地域保健・医療」

医師法第16条の2第1項に規定する臨床研修のうち、地域保健・医療について、保健福祉事務所が臨床研修病院に協力して受け入れる。（平成24年度は受け入れ無し）

(4) 地域福祉の活動状況

近年の社会経済状況の変化に伴い、国民の生活状況や価値観が多様化し、福祉に対する関心やニーズが高まってきている。これらに対応するためには、地域における住民ニーズに適した福祉等サービスを総合的に提供することが必要で、社会福祉協議会を中心として、民生・児童委員、ボランティアをはじめとする地域住民の積極的な参画や取組みが重要になってきている。

ア 社会福祉協議会

社会福祉法に基づく社会福祉法人の一つで、地域の社会福祉を総合的に推進する民間団体として、社会福祉関係団体等の行う福祉活動の連絡、調整や福祉サービス等の企画・実施、ボランティア活動の振興、福祉教育・啓発活動を行い、各市町村に設立されている。

イ 民生委員・児童委員

民生委員法及び児童福祉法に基づき厚生労働大臣の委嘱を受け、援助を必要とする人の相談に応じたり、保健福祉事務所その他の関係行政機関の業務に協力するとともに、広く地域住民の福祉増進のために自主的な活動を行っている。

管内市町村に26の民生委員協議会が設置され、民生・児童委員の定員は508人となっている。

(表1)

ウ 社会福祉法人

社会福祉施設等を設置・運営する社会福祉法人(市町村社会福祉協議会含む)は、極めて公共性の高いものであることから、健全な社会福祉事業の経営と公正な法人運営を確保するための指導・監査を行っている。(※平成24年度は、震災及び原発災害の影響により実施件数が少なかった。)

○平成24年度実績 市町村社会福祉協議会：2法人、社会福祉施設：4法人

エ 日赤・共同募金

日本赤十字社は、赤十字の財政基盤である社資募集と皆様からの義援金を基に、災害救護活動や防災ボランティアの養成、救急法や家庭看護法等の普及、赤十字奉仕団・青少年赤十字の育成強化、国際救援活動への協力などの事業を行っている。

共同募金は赤い羽根共同募金等を通じて寄付金を募集し、その寄付金を社会福祉事業、更正保護事業、その他の社会福祉を目的とする事業を運営する者に配分している。(表2)

3 出前講座・広報等

(1) 出前講座

地域の方々が快適で健やかな生活を過ごしていただくため、保健・衛生・福祉に関する正しい知識を県民等に伝えるため、地域住民や企業・学校の希望に応じ、職員を講師として派遣する「出前講座」を実施している。(※平成24年度は、震災及び原発災害の影響により実施件数が少なかった。)

年 度	16	17	18	19	20	21	22	23	24
実施講座数	112	111	152	190	93	85	70	9	16
のべ受講者数(人)	9,791	8,005	12,688	15,175	7,370	4,223	2,985	384	851

(2) 広報等

ホームページについて平成14年4月に開設し、業務の広報及び各種統計資料を地域住民等に情報を提供しており、現在延べ20項目、約200種の情報を掲載している。

(表 1)

民生・児童委員の状況

平成25年4月1日現在

市町村名	定数 (うち 主任 児童 委員)	現数 (うち 主任 児童 委員)	性別		民生委員協議会		
			男	女	名称	会長	事務局 (電話番号)
広野町	15 (2)	15 (2)	7	8	広野町民生委員協議会	佐藤 功	広野町 (町民課) 0240-47-2115
檜葉町	21 (2)	21 (2)	3	18	檜葉町民生児童委員協議会	野木 桂子	檜葉町社会福祉協議会 (仮事務所) 0242-55-0177
富岡町	33 (2)	33 (2)	13	20	富岡町民生委員協議会	渡辺 光祥	富岡町社会福祉協議会 (仮事務所) 024-935-3345
川内村	13 (2)	10 (2)	0	10	川内村民生委員協議会	秋元 良子	川内村社会福祉協議会 0240-38-3802
大熊町	27 (2)	26 (2)	6	20	大熊町民生児童委員協議会	秋本 正夫	大熊町社会福祉協議会 (仮事務所) 0242-29-5760
双葉町	20 (2)	14 (1)	2	12	双葉町民生児童委員協議会	羽根田 信	双葉町社会福祉協議会 (仮事務所) 0480-70-0057
浪江町	57 (3)	56 (3)	14	42	浪江町民生委員協議会	豊口 澄子	浪江町社会福祉協議会 (仮事務所) 0243-62-0877
葛尾村	10 (2)	10 (2)	5	5	葛尾村民生児童委員協議会	東海林憲一	葛尾村社会福祉協議会 (仮事務所) 0247-62-8687
新地町	26 (2)	26 (2)	10	16	新地町民生児童委員協議会	菅野 喜一	新地町社会福祉協議会 0244-62-4213
飯舘村	29 (2)	29 (2)	15	14	飯舘村民生児童委員協議会	石井 延眞	飯舘村社会福祉協議会 (仮事務所) 024-562-3622
郡部計	251 (21)	240 (20)	75	165	民協 郡部計	10 民協	
相馬市	86 (18)	86 (18)	35	51	相馬市	9 民協	
南相馬市	171 (15)	165 (14)	50	115	南相馬市	7 民協	
市部計	257 (33)	251 (32)	85	166	市部計	16 民協	
合計	508 (54)	491 (52)	160	331	合計	26 民協	

(表2)

日本赤十字社相双地区・共同募金相双支会等の状況

〈各種募金の状況〉

平成24年度

資金種別	日 赤 社 資			共 同 募 金			歳末助け合 い 実 績 額 (円)
	目 標 額 (円)	実 績 額 (円)	達 成 率 (%)	目 標 額 (円)	実 績 額 (円)	達 成 率 (%)	
相 馬 市	3,000,000	4,493,418	149.8%	5,488,000	4,811,229	87.7%	3,897,184
南 相 馬 市	4,000,000	457,000	11.4%	0	145,251	-	827,949
広 野 町	0	348,500	-	0	80,095	-	37,938
檜 葉 町	0	1,000,000	-	0	52,033	-	0
富 岡 町	0	0	-	0	22,126	-	0
川 内 村	0	0	-	0	8,808	-	372,662
大 熊 町	0	10,000	-	940,000	142,699	15.2%	0
双 葉 町	0	0	-	0	0	-	0
浪 江 町	0	0	-	0	73,280	-	0
葛 尾 村	0	0	-	0	53,791	-	0
新 地 町	1,149,000	1,178,047	102.5%	1,353,000	1,317,532	97.4%	1,060,000
飯 舘 村	0	0	-	0	0	-	193,803
合 計	8,149,000	7,486,965	-	7,781,000	6,706,844	-	6,389,536

〈各種募金の配分状況〉

共同募金（平成24年度一般募金からの平成25年度配分額表）

所在地	施設名	配分額 (円)	摘要
南 相 馬 市	(N)いっぽいっぽあさがお	250,000	小規模作業所等支援事業
相 馬 市	(N)フリースペースふらっと	250,000	〃
相 馬 市	(社福)スマイルセンター	820,000	障がい福祉サービス事業所
相 馬 市	(N)ひまわりの家	60,000	〃
計	(4施設)	1,380,000	

NHK歳末たすけあい募金（平成24年度一般募金からの平成25年度配分額表）

所在地	施設名	配分額 (円)	摘要
南 相 馬 市	地域活動支援センター いっぽいっぽあさがお	1,400,000	利用者送迎用軽自動車
計	(1施設)	1,400,000	